

## パイロキープTS2000塗装仕様及び要領書

### 鋼板面防食標準塗装仕様 (TS2000-3回塗り)

(下地処理) 下地面の錆、旧塗膜等はワイヤーブラシ、電動工具等でケレンし取り除いて下さい。

錆粉、ホコリ、ゴミ、油分等は溶剤等で清掃脱脂し除去して下さい。

特にステンレス鋼等では表層の目荒らしも兼ね全面を当たって下さい。

※注意、表面ケレン後は錆の再発生の無い様、出来るだけ速やかに下塗り塗材を塗布して下さい。

工程1) 下塗り材	パイロキープTS2000プライマーM (シルバーグレー)
主剤/硬化剤比	75/25 (重量比)
シンナー希釈率	0~10% (パイロキープ専用シンナー)
塗布量	150g/m <sup>2</sup>
養生	6時間以上5日以内 (20℃)
工程2) 上塗り材1回目	パイロキープTS2000 (指定色)
主剤/硬化剤比	70/30 (重量比)
シンナー希釈率	0~10% (パイロキープ専用シンナー)
塗布量	150g/m <sup>2</sup>
養生	6時間以上5日以内 (20℃)
工程3) 上塗り材2回目	パイロキープTS-2000 (指定色)
主剤/硬化剤比	70/30 (重量比)
シンナー希釈率	0~10% (パイロキープ専用シンナー)
塗布量	150g/m <sup>2</sup>
最終養生	72時間以上 (20℃)

(注意及び施工要領)

- ①塗装方法は刷毛、ローラー、吹きつけ塗装機を使用出来ます。  
2液性塗料につき、2時間以内程度で塗布出来る量を混合し、夏場の屋外施工等では、専用シンナーでの微調整を、お願いします。  
又、寒冷期及び作業工程上必要な場合は担当者と打ち合わせの上、硬化促進剤を任意で現場添加する場合があります。(1%程度)  
この場合は1時間以内程度で塗布出来る量を混合して下さい。
- ②シリコン含有量の高い特殊塗料につき、泡切れが悪い・泡残りする・乾燥が遅い等の作業デメリットが有ります。ローラー使用ではスモールローラーの使用をお奨めします。
- ③置換泡やカクハン泡が残った場合、塗装後速やかにハケ・空ローラー（ネタをつけない状態）で泡を潰し、ピンホールやドーム状泡残りの発生を防いで下さい。
- ④屋外施工の場合で虫の付着が懸念される場合は、夕方に掛かる塗装は避け早めに切り上げて下さい。
- ⑤屋外施工の場合、冬場は夜間結露による艶引け等を防ぐ為、極力好天・午前中の施工として下さい。(曇天10℃以下の気温では、硬化が進みません)
- ⑥計量は計量カップ・秤等を使用し充分な攪拌して下さい。規定量を守り一度の厚塗りは避けて下さい。白化し充分造膜をしない場合があります。  
溶剤系塗料です。特に屋内・ピット等の場合は換気、火気に十分注意し、徹底した安全管理をお願いします。

(塗料荷姿)

パイロキープTS2000プライマーM (シルバーメタリック)	4kg/セット・10kg/セット
パイロキープTS2000 (指定色)・・・日塗工調色	4kg/セット・10kg/セット
パイロキープ専用シンナー (上・下塗り共通)	4kg/缶 ・15kg/缶

硬化促進剤は必要な場合、申し出により適量無償添付